



俳句

玉井北男 選

初詣絵馬に願ひし天仰ぐ
 梅林の枝を離るる風の音
 寒灸や四方山ばなし弾ませて
 朝市の売り子の訛りや飛驒の春
 白湯のんで今日のはじまり春霞
 鼻唄に世を偽りて大根摺る
 寒林を抜け出て誰も物言はず
 鶯や歩きたくなる徑ありて

川柳

藤原真佐美 選

孫からのハイじいちゃんと言うチヨコ
 人よりも犬に挨拶おはようさん
 睦まじく米寿と卒寿有難い
 琴奨菊努力で掴み賜杯持つ
 鬼も内園児元気に豆とばす
 宝くじ夢一杯に膨らませ
 寒い日は明日の元氣へ鍋囲み
 言い訳も愚痴につながる長電話

短歌

田坂 幸 選

沖つ辺に四阪が見ゆる奥津城の父の御霊を撫
 でて風吹く
 紅椿一輪枝に残りをり暴風一夜吹き荒れし朝
 千町の水の流れは今に尚榮えし頃の清き色見
 クッキーにアップルパイと時にパン我を遊ば
 ナレト口なオープン
 長年にわたり秀歌を作られし貴女の訃報聞き
 て寂しむ
 血縁の絶えしふるさとの山と川上野ヶ丘に花
 はめぐり来
 忙し気に鳥は蜜吸ひ飛び立てりそれで椿の花
 は幸せ
 玄関に友下さりし紅梅のほかに香り春近き
 かも

■俳句・川柳・短歌 作品募集

作品は、読みやすい書体で作成し、俳句・川柳・短歌の別を書き、漢字にはふりがなを振り、住所・氏名・電話番号を明記し、毎月1日までに郵送または提出してください。

応募先

〒793-8601 明屋敷164
 西条市役所 広報広聴課 広報係
 TEL 0897-52-1204 (直通)



Your Friendly Neighbors

世界のゆかいな仲間たち

No.113

ベトナムで春の訪れを知らせる花

日本ではお正月を迎えるとき、新春と言います。実際、その時点は初冬ですね。私が日本の春を感じるのは、3月末からちょうど百花が咲くときです。特に、桜が咲くときに一番春の訪れを感じます。もし日本のお正月が4月に移ったら、日本人の皆さんはどう思いますか(笑)？

では、皆さんはベトナムの新春はいつか知っていますか？

ベトナムの正月は、日本の正月より1カ月くらい遅れています。年によっては1カ月半遅れる場合もあります。お正月が近づくと、少し寒くなります。また、大きな春の合図として、日本の桜のように花が咲きます。それは、Hoa Mai (ホア マイ) という黄色の花です。ベトナム中部から南の地方で見られます。一方、

今回のフレンド

チュオン・ディン・レー (写真右)

国際交流員
(春節は家族と過ごします)



北の地方にはホア マイの代わりに Hoa Đào (ホア タオ) という日本の梅のようなピンクの色の花があります。

昔は家の前にホア マイの木を植え、お正月の時に一番綺麗な花が咲いている枝を切り、家の中の大きな花瓶に飾り、訪問客を迎えました。現在、ベトナム人の習慣は少し変わり、盆栽のホア マイまたはホア タオを飾るようになりました。次の年にまた使えるようにするには、盆栽を丁寧に育てないと花が咲きません。盆栽の世話が分からない人は、花の専門家に依頼します。お正月まで世話してもらうのに、結構お金がかかります。

皆さん、ベトナムのお正月はどんな雰囲気か、ぜひお正月の一週間前に一度行ってみませんか。とても楽しいと思います。